

2024/25 WEEKLY BULLETIN



国際ロータリー第 2790 地区 第 4 グループ

市原ロータリークラブ会報



事務局 袖ヶ浦市椎の森 385 - 21 株式会社リプラス内

例会場 淡粋

第2776回例会 2025年2月6日（木）

● 司会進行

SAA/宮武委員長・檜垣副委員長

会報担当/ 川島事務局

● 点 鐘 上野会長

● ソング 君が代・奉仕の理想・4つのテスト

● お客様 なし

会長挨拶 上野聡 会長



皆様、こんにちは。本日は、市原ロータリークラブ

2月第一例会に多くの会員の皆様、ようこそお越しくださいました。ありがとうございます。

さて、本日の会長挨拶は、先般、市原RC、LINEグループにアップし、多くの皆さんにご協力いただきました、児童養護施設平和園さんのへの支援依頼について、そこに至った経緯をお話したいと思えます。まずは、市原JCの後輩にプルデンシャル生命保険の茂木哲也さんという大変優秀なライフプランナーがおります。その茂木さんが、創業者の名を冠した「坂口陽史（きよふみ）ゴールデン・

ハート・メモリアル・アワード」の2024年の受賞者となり、10,000ドルの寄付先を選定する権利を得て、寄贈したのが、平和園さんでした。ちなみに受賞者は、約4,000名のライフプランナーから年間一人選ばれるそうです。私は、「茂木さん、いいことしたね」と思っていました。2025年を迎え、届いた年賀状の一枚に、当社のお客様である、富士石油株式会社袖ヶ浦製油所の所長をご歴任された方の奥様からの年賀状がありました。「ご無沙汰致しておりますがご健勝にてお仕事に励まれていることでしょう。孫が「平和園」という施設で働いております。お近くでしょうか？よろしく願いいたします。

孫は〇〇〇と申します。」と書かれておりました。元所長様は、すでにお亡くなりになっておりますが、生前奥様とともにボウイスカウト活動をされていたことを伺っていたので、私は、奥様の文章から

「あなた社会貢献しなさいね」とメッセージをいただいた様な気がしました。茂木さんの寄付も含めて、様々な意味で【縁】を感じ、平和園さんのHPを見て、早速寄付をしました。1月17日に事務の方からお礼と領収書をメールでいただいたのですが、そこに、キャンペーンとして立ち上げた

「卒園旅行」に使わせていただきますと書かれておりました。HPで、「卒園旅行」の経緯を読んで、何とかしてあげたいなと思い、皆さんに支援を求め、アップさせていただきました。同時に市原RC以外に、市原JC有志のOB会である市原JC Friendly ClubのLINEグループにもアップしました。被っているメンバーがいますが、差し引いたとしても170名ぐらいの方には、知っていただいたと思えます。「卒園旅行」にクラウドファンディングから寄付をされた方は、

現在102名ですが、その内60名以上がこのメンバーからだと想像しています。対応のスピード感も含め、本当に有難く感謝の気持ちいっぱいになりました。1月21日に平和園施設長の星さんからお礼の電話をいただきましたが、何事が起きたかと思っていたとおっしゃっていました。そして、是非、施設見学にお越しく下さいと言われていたので、昨日、茂木さんと伺って来ました。ひらいさんで建築した施設は、木のぬくもりが感じられて、子供たちも喜んでいておっしゃってありました。本年度、私の市原RCの会長としての目標に【寄付文化の醸成】があります。以前にも話しておりますが、私の中の寄付文化の始まりは、2015-16年に務めた地区米山記念奨学委員会での【気づき】です。その後、始関さんの後任として、公益財団法人ちばのWA地域づくり基金さんで務めている休眠預金活用事業の審査や、昨年卓話をさせていただいた、千葉大学みらい医療基金さんとの縁、今お話しした平和園さんの出来事も含めて、神様に「上野さん、汗を掻きなさいよ」と言われているような気がしております。そんな男がたまたま、市原RCの会長を務めていることで、皆様ご自身の中に寄付文化を根付かせていただきましたら幸いです。以上、会長挨拶とさせていただきます。(別紙参照)

● 幹事報告 磯貝元洋 幹事



2月9日地区大会ですので、参加者の皆様は9時30分頃にはお集まり頂けると幸いです。後2月20日はIMになっております。RID2790地区ロータリーデーとして、3月9日ZOZOマリンスタジアムにて、千葉ロッテマリーンズのオープン戦を「第2790地区ロータリーデー記念試合」として開催いたします。申し込みをお願いします。米山奨学生の世話クラブとカウンセラーの引き受けを申し込むことになりました。

● 司会進行

SAA 宮武委員長・檜垣副委員長



本日の例会場 淡粋



● 寄付者 米山記念奨学会寄付感謝状
石井亮介会員 ありがとうございます。



● RL1 セミナー卒業
山崎克哉会員 お疲れ様でした。



● 2月誕生日の会員様

始関会員・津留会員・上野会長
お誕生日おめでとうございます。



● 2月結婚記念日の会員様

村井会員・松本会員・角谷会員・上野会長
結婚記念日おめでとうございます。



● 委員会報告 会員増強・基盤向上委員会

中西副委員長

3月17日袖ヶ浦との合同例会&コンペ
があります。ご案内をお送りしますので、
多数の参加お願い致します。



● ラーニング委員会

永野副委員長

2月20日にIM京成ミラマーレにて
3月6日新入会員研修会を淡粋さんにて
行います。入会3年以上の方もご出席
くださると助かります。



● ニコニコ報告

山崎克也会員・・・足掛け3か月の間、欠席しまして、申し訳ございませんでした。

加藤先生のおかげで体調も万全になり、母の49日法要も淡粋さんのおかげで、
無事終了しました。通夜告別式の際はロータリーの皆様に大変ご協力頂き
ありがとうございました。

上野会長、磯貝幹事・・・先日の平和園の支援たくさんの皆様にご協力頂き

ありがとうございました。心より感謝申し上げます。

・ 9日は地区大会になっております。出席する皆様よろしくお願ひいたします。

● 出席報告

本日出席者：42名 欠席者：44名 出席率： 49.41%

● メインプログラム

新入会員卓話 時田信義 会員



源総業の時田です。

入会は一昨年9月になりますが、新入会員の卓話がまだと言う事で、こういう機会を与えて頂き感謝致します。

簡単ではございますが自己紹介をさせていただきます。

生まれは1971年昭和46年4月28日になります。

猪年の牡牛座、血液型はA型になります。

兄弟は姉と妹の3人兄弟になります。

性格は昔、成田山新勝寺の占い師に占ってもらったところ「あんたは我が相当強いね。でも根が真面目だから大丈夫」

と言われ、過去にいろいろありましたが根は真面目だと思います。

自分が20代の頃はトラックの整備工場や千葉の港湾荷役会社でフォークのオペやトラックの配送などをし、電話機や置き菓の営業なども経験してきました。30歳になるころには、母に会社に入るよう言われ断る理由もなかったもので、入社しました。

会社は主に運送と倉庫業をしていますが、今年で創業57年になります。

創業は父ですが、34歳の時に脳に腫瘍を患い36歳の時に他界し、自分は当時まだ10歳でした。

母が父の代わりに子供3人を育てながら、当時まだ社会だった運送会社の代表として会社を継承してくれました。

自分が代表になったのは42歳のときでした。入社してから12年間は特定のお客様との会合以外は出ることもなく、ただいつまでも家と会社の往復だけではだめだと思い、しぶしぶ千葉南法人会の青年部に入ってみました。会に入ったもののお酒は飲まないし、知りあいも誰もいないので何も得るものは、ないと思っておりました。

何かの機会にまだ青年部に在籍していた現会長の上野さんや

大槻さんと話す機会があり「親がいろいろな会合に出ていろいろな役職をやっているのだから、自分が望む望まない関係なしにそういう話があるんだから受け入れないと。会合がつまらないと思っても

2度3度参加していくうちに何か面白いものが見つかるかもしれないし、つまらないと思っても出てみれば良い」と言われました。それから好きでもないお酒を飲むようになりなるべく会合に出るようにしました。会合に出て知っている人が増えたので、出席も苦ではなくなりました。

今では法人会の厚生委員長や商工会議所の運輸部会の部会長、常議員にもなることができましたので、あの時の出会い、助言に感謝しております。

また、縁あって市原ロータリークラブにも入会させていただきましたので、これからも少しでも良いので、会と地域への貢献ができればいいなと思っております。

かんたんではございますが、自己紹介を終わらせて頂きます。

ご清聴ありがとうございました。

● メインプログラム

新入会員卓話 中島大輔会員



川岸運送株式会社は、創業 62 年になります。私の祖父が、市原市にコンビナートが誘致された際に地元の漁業者と折衝を行い、その後、丸善石油株式会社（現コスモ石油株式会社）の依頼を受け 1963 年 8 月に設立しました。以来、石油等のエネルギー資源の運輸を主たる事業としています。他にも、アスファルト配送やアドブルー配送、最近ではコインランドリーも開業しました。

祖父から父へと受け継がれ、特に父から会社を継ぐよう

言われたことはありませんでしたが、私で 3 代目となります。地域の方からの「川岸さんの息子さんだ」という視線や期待もあり、20 代半ばで勤めていた会社を辞めて会社に入社しました。

入社した当初は、社員の方々と会社の関係性も決して良くはなく、お客様からの評判も落ち込んでいたように感じました。そのため、早急に対応窓口を作り、運行管理や教育など内部の管理を進め、組織化を目指しました。私がまだ 24 歳の頃です。社員を信頼し任せるということを知らず、24 時間 365 日、気の抜けない日々が続きました。そうしているうちに、一人で抱え込み過ぎたためか体調を崩し、半年ほど休養を必要としました。

復帰後は「一人では限界がある」と心底感じたため、社員皆さんを頼るようになりました。

自身の不在時に会社が順調に回っていたことも、社員への信頼につながりました。局所的・部分的な仕事の振り方をしていたことを反省し、自分は方向づけとバックアップに回り、社員自らの意志や「やりたい」という気持ちを尊重するようになりました。すると、不思議とうまくいくようになり、業績も上がっていったと思います。

2024 年 4 月からは働き方改革関連法が施行され、運送を担うドライバーの時間外労働に上限が設けられました。このことは、「物流の 2024 年問題」と言われ、業界でも問題視されていました。一日に運ぶことができる荷物の量が減り、事業者の売り上げや利益が減少、そのことでドライバーの収入も減ってしまい、担い手不足に……という懸念がありました。

しかしながら、弊社はこの法令を守るために 2、3 年前から動き出しており、就業規則を変えたり給与の支給基準を見直したりと企業体系を整えてきました。結果、スムーズに事が運び、2025 年を迎えた今も、諸問題はありますが、お客様、社員の皆さんの協力によって業務に取り組んでいます。

今後も創業 100 年を目指して、時代の変化に対応していきたいと思っています。